

一般質問

市の明日を考える!

3月定例会の一般質問は、3月10日から14日の5日間にわたり18人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

本 多 俊 昭

[真 誠 会]



- ①消防行政について
- ②子どもの生活環境の改善について

問

- ①①消防団の活動体制について、災害時等における出動の判断基準と指示体制は。
- ②団員の定数と実員数、充足率は。また、今後の団員確保の取り組みは。
- ②①学校保健統計調査の結果は。
- ②リフレッシュ事業の内容は。

答

- ①①気象警報発令により市から団長へ情報を伝達し、順次、各地区隊等へ待機・出動等を伝達。各班の地域の状況に応じた出動対応もある。
- ②定数1,492名に対し実人員1,472名、充足率98.7%。今後の課題に関して消防団と協議検討していく。
- ②①本市の発育状況は身長・座高は全国・県平均だが、体重は県平均と同じくらいで肥満傾向にある。
- ②放射線の影響が少ない県内外の施設で体験的な活動を行うために実施している事業である。

熊 田 義 春

[市 政 会]



- ①新工業団地（高平）整備について
- ②有害鳥獣対策事業について

問

- ①①これまでかかった総経費はいくらか。
- ②地権者への説明責任は今後どうされるのか。
- ②①各分隊の隊員数は。
- ②解体処理費を15,000円にした理由は。

答

- ①①平成24、25年度の2カ年の総合計額は、244,637,400円。平成25年度の道路整備費、都市計画費を入れて総合計額248,109,750円である。
- ②地権者の皆様に現状を説明し、理解が得られるよう努める。
- ②①二本松分隊25名、安達10名、岩代19名、東和20名、合計74名。
- ②平成26年度から、鳥獣被害対策実施隊を設置し、基本割、人数割に加えて解体処理費用を考慮し、捕獲頭数1頭当たりの活動費として支給する。

小林 均

[公明党]



- ①消費税率引上げ時の低所得者や子育て世代への負担軽減策
- ②消防団の処遇改善について

問

- ①①臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の支給までの予定は。
- ②各給付金の対象者総数、世帯数、給付金総額はいくらか。
- ③生活保護受給者の生活扶助基準の改定の詳細について伺う。
- ④DV被害者への市の対応は。
- ②①消防団支援法に地域防災の要と位置付けられたが、体制の整備は。
- ②消防団員の年額報酬と手当は。
- ③報酬、手当の額の改善の考えは。
- ④市職員の積極的な入団の検討を。
- ⑤消防ポンプ車等装備品の整備は。

答

- ①①4月プロジェクトを設置、5月全戸へチラシ等で周知、6月申請書等の発送、7～9月受付・支給。
- ②福祉給付金7,000世帯11,600人、1億4,500万円。子育て給付金4,200世帯7,740人、7,440万円。
- ③全ての世帯に2.9%増の改定率。
- ④申出者の要件が満たせば、給付。
- ②①地域防災の要として充実を図る。
- ②報酬26,000円。報償費5,000円。
- ③今後の検討課題とする。
- ④活動できる環境整備が必要。
- ⑤団と協議をし、充実を図りたい。

平栗 征雄

[市政刷新会議]



- ①除染に対する市民への説明について
- ②除雪対策について

問

- ①仮置場の確保については、街中では難しい。国、県、市所有地の確保に力を入れて欲しい。行政としてどう進めるのか。
- ②今は車社会である。歩いて駅までというのも難しい。今回の反省点として、今後の除雪対策を伺う。



降雪5日目の除雪状況

答

- ①市街地では、一時保管や地区仮置場もない事は承知している。国・県・市等の公共用地を仮置場という提案であるが、市所有地については、極力提供することで現在進めている。その土地に近接する行政区民の同意が得られれば、市として積極的に進めたい。
- ②今回の豪雪の経験を基に、除雪路線の再検討、除雪方法、放置車両対策、市道と国県道との除雪連携、歩道の除雪対策等の諸課題に対し、関係機関等と協議・検証をしていく。

深谷 勇吉

[真誠会]



- ①社会保険二本松病院について
- ②大雪での農業被害について

問

- ①産科が休止されて1年以上となるが、産科医の確保への取り組みは。
- ②①大雪によるハウス倒壊に対する市の対応は。
- ②倒壊したハウスに対しての支援は考えられるか。



大雪により倒壊したハウス

答

- ①全国的な医師不足、特に産科医師の不足の中で、派遣協力の目処は立っていないが、二本松病院と協力し関係機関に働きかけていく。
- ②①倒壊後、現地確認・聞き取りを実施。生産団体から、ハウス補強や加温による予防策を超える被害だ、との報告を受けた。
- ②国が補助の嵩上げを予定している。まだ詳細は明らかではないが、再建修繕に係る経費に対し2分の1の補助率で、県・市が上乗せをする。撤去費用も対象と考える。

堀 籠 新 一

[真 誠 会]



- ①豪雨災害からの復旧対策について
- ②大雪の対応と大雪による災害復旧対策について

問

- ①①農地等小規模災害復旧事業申請者数と復旧の進捗状況は。
- ②大雪や除染事業と年度末を迎えての災害復旧対応と見通しを伺う。
- ③大雪による被害箇所数と被害額は。雪害を受けた農作物、パイプハウス、鉄骨ハウス等の復旧費用の助成を伺う。



大雪により被害を受けたパイプハウス

答

- ①①2月末までに138件の申請があり、うち44件が完了している。
- ②大雪の影響で遅れが懸念される。建設業や地元の理解をいただき、除染より災害復旧を優先に、作付に間に合うよう市単独での修繕を進め、復旧が困難な箇所は、暫定的な措置を図るなど作付が出来るよう協議と施工を進める。
- ③2月9日と15日のパイプハウス倒壊等の被害が566件で1億552万円。ハウス等復旧費用の助成は国県の補助と市の補助を準備している。

野 地 久 夫

[市政刷新会議]



- ①安達駅周辺整備について
- ②安達支所駐車場整備について

問

- ①安達駅及び東口・西口広場の26年度事業は。
- ②①安達支所関連駐車場の実態については。
- ③保健センター周辺に駐車場等公共利用用地を確保すべきでは。



現在の保健センター周辺

答

- ①東口駅前広場は面積6,400㎡、タクシープール4台、一時駐車場7台、月極駐車場83台、バス乗降場等を整備予定。西口駅前広場は面積2,500㎡、タクシープール2台、一時駐車場5台、バス乗降場等を整備予定。駅自由通路は延長55m、幅員2.5mを整備予定。
- ②①駐車可能台数は143台。市職員・社協職員等の利用駐車を含め65台分の駐車場確保が必要。
- ③保健センター周辺土地利用計画等も踏まえ今後検討課題とする。

安 斎 政 保

[市 政 会]



- ①放射能教育について
- ②県道福島安達線（旧国道4号線）について

問

- ①放射能授業について、理解させることのむずかしさの中で、現時点で2時間の時数だが、少ないのではないかと。来年度よりどのようなになるのか。
- ②渋滞緩和について、市としてどのように考えているのか。現在市内においても、この道路の渋滞は市民生活において大変不便であり、学校、駅、商業、医療施設があるほか、今後、復興公営住宅建設も予定される等ますます混雑が予想されるが、その対策は。

答

- ①授業時数は2時間を基本として、学校においては、小学校体育科の保健領域では、放射線が健康に及ぼす影響、家庭科の調理実習等では放射線の影響を考えた食材選びなど正しい対応ができるよう指導したい。
- ②油井地区においては住宅建築や大型商業施設の開設により年々交通量が増加し、各交差点における渋滞が目立ってきている。特に右折レーンのない交差点では本線が渋滞している。早期の解消が必要と認識しており、県に要望して行く。